

○「景観作物で普賢寺を花街道に」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第13回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年8月20日午後7時～9時
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員4名、市役所:伊藤主査
普及センター:寺岸副主査
農業会議:多田課長
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 6月18日に「普賢寺地区連絡会」の設立総会が開催され、第2回目の地区連が開催された。
- 農振の見直しに向けての準備として、各区ごとに、委員と班長等が協力し、5年後の農地の利用状況と、取水・農道・獣害等の営農条件の良否を、赤・青・黄の3色を基本に、地図に落とすこととした。
- 遊休農地の解消、法面の草刈り作業の軽減等を目的に景観作物等を植え、普賢寺地域を花街道にするとともに、農産物のブランド化につなげるため、今秋から各区で実証ほを設置することとなった。また取組を推進するため、実施可能な補助事業を検討した。

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |